

令和4年度 (2022年度)	市議会事務局の取り組み
＜部長の方針・考え方＞ ①本会議、委員会等の円滑な議事運営を期する。 ②市議会の行政監視機能等が十分に発揮できるよう、適正かつ迅速に対応する。 ③庁内外の各種研修を積極的に活用するなど、人材育成に取り組むことで、事務局全体の機能強化を図る。	
＜部の構成＞ 議会総務課 議事調査課	＜主な担当事務＞ (1)本会議等の運営に関すること。 (2)議長・副議長の秘書に関すること。 (3)政務活動費の交付に関すること。 (4)本会議等の記録作成に関すること。 (5)枚方市議会報の発行に関すること。 (6)議員の調査・研修に関すること。 (7)議会の政策法務に関すること。

重点的な取り組み：本会議、委員会等の適正な運営

本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、きめ細かな調整と迅速な準備を進め、議会全体の更なる機能強化と活性化に取り組みます。

具体的には、通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査等に取り組む常任委員会活動に積極的に関わるとともに、社会情勢やニーズに応じた効果的な議員研修を実施するため、先進事例や講師の情報などの調査・研究を進めます。また、議会の運営根拠や先例等を掲載した例規解説集（十訂版）を編集します。

重点的な取り組み：ICT化の推進

令和2年度にタブレット端末および文書共有会議システムを導入し、一部の会議資料や議員配付文書を電子化するなど、ペーパーレス化の試行運用を行い、令和3年度では、本会議、常任・特別委員会においてもタブレット端末を活用したペーパーレス化を推進し、令和4年3月定例会月議会から本格運用に移行しました。

今年度においては、本格運用の検証に基づく課題整理を図りながら、ペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進めます。

また、タブレット端末をより有効に活用するため、令和3年度において、制限していた機能の一部を解除しました。今年度においてはタブレット端末の活用状況について検証するとともに、さらなる有効活用に取り組みます。

さらに、令和4年3月定例会月議会において、オンライン委員会の導入に係る委員会条例等の一部改正案を議決したところであり、今年度においては、オンライン委員会の開催要請があった場合に円滑に運用できるよう、各委員会の形態に応じた実施体制を構築します。

重点的な取り組み：災害時や新型コロナウイルス感染症対策における活動支援の強化

地震や台風などの大規模災害の発生時に、災害対策本部と連携し、議員の災害対策活動を支援するとともに、「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」などにおいて迅速かつ適切な対応ができるよう、枚方市議会業務継続計画（BCP）の発動を前提とした安否確認訓練、災害時避難訓練の実施や想定される議案の調査・研究に努め、対応行動の習得を図ります。

また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず様々な対応が求められている中、市内の感染状況や市の対応策を迅速に議員間で共有できるよう適切な情報共有と情報提供に努めます。

重点的な取り組み：市民にわかりやすい情報発信

議会活動に関する情報発信については、現在実施している以下の手法を継続して行います。

- 枚方市議会報、点字議会報及び声の議会報の発行
- 一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継と、録画映像の配信
- 会議録の発行及びインターネット上における会議録検索システムの運用
- ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など

また、より効果的な情報発信ツールの調査・研究を進め、引き続き市民ニーズを踏まえたわかりやすい情報発信に努めます。

具体的には、議案書や委員協議会資料について、令和3年度議会改革懇話会最終報告書の内容を踏まえ、データを提供する理事者側と調整を行いながら、ホームページ掲載に向けた取り組みを進めます。

枚方市議会報においては、令和3年度に新企画コーナーを掲載した際に多数寄せられた市民の意見を基に、より親しまれる議会報となるよう、議会報編集委員会の決定に基づき、紙面のカラー化を進めるとともに、掲載内容の改革に取り組みます。